様式第７-４号（第11条関係）

耐風診断調査票（一次診断）

【木造住宅耐震（診断・改修）事業等補助金用】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象 | 項目 | 記入欄 |
| 一次診断者 | 所属名 |  |
| 診断者名 |  |
| 所在地 |  |
| 連絡先 | TEL：　　　　　　　　Mail： |
| 評価依頼者 | 氏名 | 　　　　　　　　　　様　　　　　　連絡先： |
| 建築物の概要等（ヒアリング） | 所在地 |  |
| 竣工時期 | 築年数　　　年 | 竣工時期　　　西暦　　　年 | □不明 |
| 増築有無 | □無　□有　増築部築年数　　　　年　　　概要： |
| 階数 | □平屋 | □2階建 | 屋根勾配：□６寸以下　□急勾配 |
| 屋根形状 | □寄棟　□切妻　□入母屋　□片流れ　□その他（　　　　　） |
| 屋根材 | □粘土瓦　□PC瓦　□J形　□F形　□S形□瓦かどうか不明　□瓦以外の屋根材 |
| 屋根改修 | □無　□有　実施時期　西暦　　　年　　概要： |
| 屋根不具合 | □無　□有　□雨漏り（　　　　）　□しっくいのはがれ（　　　）　　　　　　□その他（　　　　） |
| 屋根診断（地上からの目視等） | 全体調査 | □屋根に被害がある　□屋根に変形・歪みがある　□瓦が飛散している　□瓦が崩れている　□瓦が破損している□瓦にずれや浮上がりがある　□接着剤の流出痕がある□その他の破損等（　　　　） |
| 適合診断 | □上記の「全体調査」に該当する項目がある |
| □2001年より以前に施行された瓦屋根の建築物であり、屋根改修がされていない。　 |
| □瓦屋根が土葺き工法だと思われる。　□瓦屋根の工法が不明 |
| □瓦屋根が非防災タイプだと思われる。□瓦屋根の種類が不明 |
| □瓦屋根の緊結方法が下図のような方法となっている。瓦の配置が蛇行しており、留め付けがされていない可能性が高い瓦にボルト・ビス等による緊結がない瓦にビス・銅線等による緊結がない瓦にビス・銅線等による緊結がない平部がずれている緊結材が見える袖瓦に緊結材が見えない軒瓦に緊結材が見えない |
| 診断結果 | □地震又は強風により脱落・飛散するおそれが低い（上記「適合診断」に該当する項目がない）。 |
| □耐震性・耐風性を確認するためには二次診断の実施が必要（上記「適合診断」に該当する項目が1以上ある）。 |
| 所見 |  |